

この度はPIVOT ステッピングゲージシリーズをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

SG-WTX/WTXGの特長

- マイコン制御のステッピングモータードライブで、水温を高精度表示します。
 - 高精度水温センサー付属。
 - ワンタッチで最高温度を表示するピークホールド機能付。
 - 様々な場所に対応する取付スタンド&コの字ステー付属。
 - ホワイトLED反射拡散照明 (SG-WTXG)。明るさ調整機能付。
 - ホワイトLED反射拡散照明 (SG-WTX)。ブルーLED透過照明 (SG-WTXG)。明るさ調整機能付。
- 【オープニングデモ】 キースイッチONすると、機能上 (原点検出) のため、針が一定の動作をします。

セット内容

各部の名称と操作方法

<オモテ面>

【SG-WTX】

メーター表示部

- 表示範囲 20~120℃
- 照明
- ・WTX=ホワイトLED 反射拡散照明
- ・WTXG=ブルーLED透過照明
- ・スモールランプ連動
- ・明るさ調節機能付

ピークスイッチ

【SG-WTXG】

メーター表示部

- 表示範囲 20~120℃
- 照明
- ・WTX=ホワイトLED 反射拡散照明
- ・WTXG=ブルーLED透過照明
- ・スモールランプ連動
- ・明るさ調節機能付

ピークスイッチ

ピークスイッチの操作方法

ピーク温度の表示、リセットに使用します。

※キースイッチOFFでピークデータはリセットされます。

通常表示 → スイッチ1回押す → ピーク温度表示

約2秒後自動でリセットと同時に自動で

スイッチ2秒以上長押し

<ウラ面> WTX/WTXG共通

ネジ取り付け穴
コの字ステーを使用する時は、この穴へネジを取り付けます。

3Pカプラー
水温センサー接続用3Pカプラーコードを接続します。

5Pカプラー
配線接続用5Pカプラーコードを接続します。

照明明さ調節トリマー

<操作方法>
スモールON時の照明明さを調節します。

明 ← 計16段階で変化 → 暗

(トリマーはノッチなしで回ります。)

※複数のメーターで明るさを合わせたい場合

- ①基準とするメーターの明るさを決め、その明るさが最も明るい (又は暗い) 状態から何段階目かを確認します。
- ②確認した段階に他のメーターを合わせます。

注意 調整は、先の細い⊕ドライバーで押しすぎないように回して下さい。

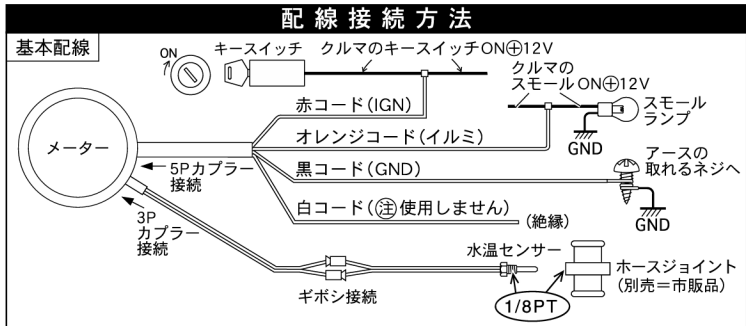
故障と思われる前に ※修理依頼なされる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
キースイッチONでオープニングデモ動作しない。	●赤コードの接続又は接触不良。 ●黒コードの接続又は接触不良。	各コードの接続状態を確認する。
温度表示が変化しない。	●水温センサーの2Pコードの接続不良。 ●3Pカプラーの接続不良。	各箇所の接続状態を確認する。
スモールONにしてもメーターの照明が点灯しない。	オレンジコードの接続又は接触不良。 照明調節トリマーが右いっぱい (最も暗い位置) になっている。	オレンジコードの接続状態を確認する。 調節トリマーを左へ回していき、明るさを調節する。
照明の色が他のメーターと多少異なる。	照明用LED自体のバラツキのため、故障ではありません。また、完全な同色にはできませんのでご了承下さい。	
キーOFF時の位置で針が止まる。	ステッピングモーターの特性上で故障ではありません。キースイッチONでオープニングデモ後に適正な温度表示 (水温が20℃以下の場合は20℃を表示) すれば正常です。	

カットギボシの使用方法 ※半田付けができる場合は行って下さい。

- 1 接続するコードの被ふくを10mm位むく
- 2 接続したいコードの被ふくを10mm位むく
- 3 被ふくをむいた箇所をしっかりとめ
- 4 確実にかしめる

※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折たたむようにしっかりとかしめて下さい。(下図) ※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かした状態を今一度お確かめの上、確実にビニールテープ等で絶縁して下さい。



注意

1. 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。(検電時は戻す)
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線のないよう、ご注意ください。

接続方法

1. 5Pカプラーコードの各コードを、それぞれ確実に接続し、5Pカプラーをメーターウラへ接続します。
 ・赤コード (IGN) = キースイッチONで⊕12Vの流れる配線へ接続します。
 ・オレンジコード (イルミ) = スモールONで⊕12Vの流れる配線へ接続します。
 ・黒コード (GND) = アースの取れる鉄板に取り付くネジ (ボディアース) へ共締めします。

水温センサーの取り付け

水温センサーは、ラジエターのアッパーホースへホースジョイント (1/8PT穴のもの=別売) を使用して取り付けます。(ネジサイズが異なる場合は、アダプター等でサイズを合わせてお取り付け下さい。)

- ①ラジエターのアッパーホースを適当なところでカットする。(冷却水が出ますので補充用クーラントをご用意下さい。カットする。)
- ②カットしたアッパーホースへホースバンドを通し、ホースジョイントを割り込ませ、水漏れのない様、センサーを確実に取り付けます。ホースジョイント (市販品) を使用し、ホースバンド (市販品) をアッパーホースに巻き付け、1/8PTのネジで締め込みます。

注意 水温センサーについてネジ部の白テープは水漏れ防止用のものですので、そのままアダプターへネジ込んで下さい。

注意

1. ホースジョイントの取付は確実に、水漏れ等ない様、ご注意ください。又、時々水漏れをご確認下さい。
2. センサーやコードに急な曲げやねじれが加わらない様に、ホースジョイントの向きをよくご検討の上、お取り付け下さい。
3. 走行後等のエンジン周りが熱い状態での作業は、火傷やケガの恐れがあるため、冷えてから行って下さい。

3. 3Pカプラーコードを使用し、水温センサーをメーターへ接続します。
 ①3Pカプラーコードのオス・メスギボシの付いている方を車輪ハーネスグロメット等を利用してエンジンルームへ引き出します。
 ②水温センサーから出ているコードと、ギボシを合わせてそれぞれ確実に接続します。

注意 接続コードとセンサーをつなぐギボシの接続は確実に、特にオスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりとネジ込んで下さい。

③メーターウラの3Pカプラーへカプラー接続します。

接続時の注意 ブースト、バキューム、油圧、排気温計、Gメーターの3Pカプラーを接続すると故障しますのでご注意ください。

メーターの取付方法

A コの字ステーを使用しての取り付け

- パネル裏側から固定する場合

B フレキシブルスタンドを使用しての取り付け

- ある程度の強度のある場所へ両面テープを使用し、上(コラムカバー、ダッシュ上等)に固定。

1 コの字ステー用のネジの取り付け

- ①付属の六角ネジの六角部分をケースウラのネジ取り付け穴へ入れ、左へスライドさせます。
- ②穴の左内側にネジの六角がはまるストップがありますので、そこへはまるようにします。
- ③六角ナットを使用して固定します。

2 メーターの取り付け

- ①取り付けたいパネルのオモテ側から、メーターを差し込みます。
- ②ウラ側で、取り付けたいネジへコの字ステーをはめ込み、ばね座金とローレットナットで確実に締め込んで固定します。

2 フレキシブルスタンドへの取り付け

- ①スタンドのホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
- ②差し込めない場合は、六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げて下さい。
- ③バンド部へメーターが差し込めたら、六角穴付ネジを多少締めつけて仮固定状態にします。

2 クルマへの取り付け

- ①メーターの取付場所を決めます。
- ②決めた場所にビッパリ付くようにスタンドを曲げます。
- ③決めた場所の油分や汚れ等を両面テープで確実にキレイにします。
- ④両面テープにて貼り付けます。

注意 両面テープは貼り直ししないよう、場所や状態をよく確認の上、貼り付けて下さい。

⑤メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。